

## 誰にでも、神は語られる

校長 Sr.大山 江理子



厳しかった残暑も過ぎ、秋の爽やかな風を感じる頃となりました。夕方になると校庭からも秋の虫の声がにぎやかに聞こえてきます。

今月はマリア様と関わりの深い月です。カトリック教会では10月はロザリオの月とされ、初等科でも、朝礼でマリア様と共にロザリオの祈りを唱えます。そして、聖心のマリア様、「感ずべき御母」の祝日も巡ってきます。マリア様はイエスの母であり、教会の母ともされています。マリア様について、優しさ、温かさ、助け手、寄り添う支え、などの要素を挙げるができますが、マリア様とはどのような存在なのでしょう。

12年生の宗教の授業では、秋の時期に女性の生き方をテーマとして、一人ひとりが自分らしく、主体的に生きることを目指して学びます。ジェンダーの視点も含めることが重要です。キリスト教においても、女性の聖書学者の活躍もあり、女性を視野に入れた研究も進んでいます。そこで、授業でもジェンダーの視点で聖書を読むことに取り組みました。

旧約聖書を読むと、アブラハムから始まって、イサク、ヤコブ、ヨゼフ、モーセと次々に男性の登場人物が重要な役割を果たしています。その中で、女性たちの存在も重要です。母として登場する女性もあれば、イスラエルの窮地を救う女性たちもいます。知恵と主体性に注目して女性たちの姿を読み解くと、生き生きとした個性が見えてきます。特に、旧約聖書続編にある「ユディト記」の主人公ユディトは、男性の指導者たちが行き詰まり、誤った判断に陥りそうになったときに、明確に指摘し、行動に出る、すぐれた判断力の持ち主です。

マリア様はと言えば、天使の言葉を受けて自分の使命を悟り、イエスの母となっけていきます。マリア様が登場する場面を注意深く読んでいくと、マリア様がイエスと共に生きた軌跡がたどれます。イエスについて理解できないものも抱えながらも、イエスの行く末を見届けようとされています。若い時に天使を通して受けた言葉が人生の軸にあったでしょう。マリア様は隠れた存在ながら、イエスと共に生きる一人の人物の姿を示しています。

12年生の授業では、ルカ福音書10章のマルタとマリアの場面を読み、イエスの女性との関わり方について考えました。さて、授業の後に生徒から次のような質問が出されました。

「聖書に素晴らしい女性の話は出てくるが、神から語りかけられるのは男性が多い。それは人間社会において男性が力をもっていて、神の言葉がよく伝わるといことからののか、神の意志によるものなのか。」

この問いに対して、どのように答えましょうか。ジェンダーの視点は、私たちが意識を拡げることが求めます。何に注目し、何に耳を傾けるか。何を読み取るか。

神は一人ひとりの心に語りかけられます。それを私たちも聞き取ることができるように、ロザリオの祈りを唱えるとき、子どもたちと共に祈ります。

## 経験を通して学ぶこと

教頭 吉岡真左美

9月には、6年生と4年生の校外学習がありました。出発前に抗原検査をしていただいたり、いつも以上に健康管理に気をつけていただいたり、保護者の皆様にとくさんご協力いただきました。宿泊施設においても、子どもたちのために色々ご配慮いただき、多くの方々を支えていただいていることを実感しました。



私は、4年生の校外学習に参加しました。3年前までは聖心丹沢学舎に宿泊しましたが、今回は初めて御殿場にあるYMCAの施設を利用し、姉妹校の不二聖心にも行くことができるように行程を新たに組み直しました。新しい内容で実施する時は、慎重に考えたり不安を感じたりすることがあります。しかし、担任の先生方は「初めての場所で初めての内容だから、うまくいかないことがあっても当たり前。だから心配しないで、みんなで力を合わせて素敵な校外学習にしましょう。」と子どもたちに投げかけていました。子どもたちも、自分ができることを考え、協力して係の仕事を進めようと前向きな気持ちで準備を進めていました。1泊2日という短い日程でしたが、自分のすべきことに責任を持って取り組んだり互いに心を配ることができたりと、たのしい姿を多く目にしました。多少の失敗は、みんなで声を掛け合って次に生かそうと心がけました。御殿場の豊かな自然の中で楽しく活動したり、日本の聖心を築いてくださったシスター方に不二聖心でお祈りをお捧げしたことも、心に刻まれたことと思います。中身の濃い2日間となりました。



私たち、特に社会で生きる大人は、「失敗しないように」という意識が必要以上に働いてしまうことがあるように思います。もちろん、失敗しないでできれば自信が持てるようになり、周囲に迷惑をかけることもありません。良い評価を受けることもあるでしょう。でも、「失敗しないように」という気持ちが強すぎて、のびやかな発想や素直な気持ちがしぼんでしまったら残念なことです。

世の中では“今の子どもたちは、失敗を恐れてチャレンジすることが少ない”という意見をしばしば耳にしますが、大人の影響もあるかもしれません。大人にも子どもにも大切なことは、うまくいくこともいかないこともいろいろ経験をして、そこから考える力と次につながる実行力を育てていくことと考えます。時間が必要なこともあります。それでも、少しずつ身につけた力は必ず<生きる力>につながるはずで。今回の校外学習のように、学校での色々な活動や経験が子どもたちの中に着実に積み重なっていくように、私たちも共に頑張っけて参ります。

## 10月の予定

1日(土) 都民の日	12日(水) 学級委員選挙
3日(月) 1年・転入・編入生保護者会	13日(木) 学級委員任命式
面接日① 午前授業	1st English Day (4限)
4日(火) 面接日② 午前授業	17日(月) 児童会役員立ち会い演説会(4限)
5日(水) 面接日③ 午前授業	6年保護者会(15:30~)
6日(木) 前期終業式	18日(火) 児童会役員任命式
7日(金) 秋休み・みこころ祭	19日(水) 2nd 感ずべき御母の祝日行事
8日(土) みこころ祭	3年社会科見学
10日(月) スポーツの日	20日(木) 1st 感ずべき御母の祝日行事
11日(火) 後期始業式	21日(金) 保護者静修会
身体測定・3,4限平常授業	31日(月) 3限まで授業 入試準備
防災引き取り訓練(1年生のみ)	